

試験区分 令和7年度/前期/理解度テスト2

科目 JavaプログラミングI（2年前期/必修）

試験日

学年・組	日付	時間（教室）
2年1組	7月15日（火）	5限目（C棟B1F）16:40~
2年2組	7月15日（火）	5限目（C棟B1F）16:40~

（注意1）講義の開始時刻には入室しておいてください

（注意2）該当するクラスに履修登録されている学生のみ入出を許可します

（注意3）時間割の都合上、異なる講義室で異なる時間帯に試験を行うことにご協力下さい

（注意4）**月曜日の通常講義を休講**として、理解度テスト2に振り替えます

試験時間 60分 ※試験前に復習、質問、確認時間を設けます

遅刻と退出

試験開始後20分以内の遅刻は入室を認めますが、試験時間は延長しません

出題範囲

- ・7回「switch文と論理演算子」から12回「クラス」までです
ただし、発展アイコン  がついている内容は出題範囲から外します
- ・講義プリントの例題や課題プリントで出題した問題を基本にして出題します
- ・教科書の範囲は、5.5章「switch文」～8.3章「クラスの利用」までです

出題形式

- ・○×問題や穴埋め、選択、説明問題、プログラミングなど多岐にわたります
- ・自主的にプログラミングを何度もこなし身に付けた学生を評価する問題を出題します
- ・webに公開している過去問を参照してください

持ち込み

学生証（本人確認をします）、筆記用具

※学生証を忘れた場合は学生課で**仮学生証の発行**をうけましょう（厳守）

再試験について

再試験の該当者は15週目講義後に大学メールでお知らせします。
再試験の条件は非常に厳しく設定しますので本試験に最善の努力を尽くして臨んで下さい。
必ずしも不合格者すべての学生が受けることができるわけではありません。

15週目講義について

試験の返却と成績確定、SE/PGへの心構えセミナーを実施します。

その他

★試験の公平性を期するために試験前の質問は大歓迎しますが、試験後のお願いは一切受け付けできません。試験結果に納得のいくように努力をお願いします。

★当日、体調不良や電車の遅延など止むを得ない事情により出席できない場合は、**当日中にメールで m-ishihara@fit.ac.jp まで連絡**をください。数日中に**追試の指示**を出します。